

フィールドスタディ D 実施報告書

訪問先：大阪

活動期間：2023年10月25日（水）～10月27日（金）

研究テーマ

- A チーム 日中 IT 企業における技術人材確保の考察
- B チーム 稲盛哲学から学ぶモチベーション向上
- C チーム 大学提携による人材獲得の考察
- D チーム 日中企業における従業員のモチベーションについて

【10月25日】稲盛ミュージアム

稲盛ミュージアムでは、まず稲盛和夫氏の人生史に関するビデオを観た。稲盛和夫氏は、京セラ株式会社の創業者であり、著名な日本の実業家である。彼は「心を高める、経営を伸ばす」という生き方を持っていた。心を磨き、立派な人格をつくるように努め続けることで、常に正しい判断を行い、経営を伸ばしていくことができるという思考である。稲盛氏は「他に善かれかし」という「利他の心」を強調していた。彼の経営哲学は、京セラの企業文化や経営方針に深く根付いていた。

その後、京セラの歴史資料を拝見した。特に印象に残ったのは、稲盛氏の再現された執務室に実際に入ることができたことである。座席の上方には「敬天愛人」という額が掛かっていた。天を敬い人を愛することを意味し、自らの理念や生き方を最もよく表す言葉として共感し、終生、自らの部屋に掲げるとともに、昭和41年の社長就任に際して京セラの社是とした。京セラの成功は、稲盛先生の経営哲学とその実践によるものであり、彼の影響力は今もなお京セラの発展と成長に寄与している。



【10月26日】株式会社 HILLTOP 会社見学

翌日、フィールドスタディ D の履修者全員は HILLTOP 社に見学に行った。HILLTOP 社の社長は会社の歴史を紹介し、皆の質問に丁寧に答えてくれた。交流の中で、HILLTOP 社の成功の要因となる経営の特徴を学んだ。生産面では、HILLTOP 社には独自の HILLTOP SYSTEM があり、技術を生産に導入し、伝統的に職人が行っていた工程を機械加工事業に転換した。多品種少量生産、5軸 MC の 24 時間無人稼働、表面処理の内製化などの生産方式の革新により、高品質、短納期、低コストなどの強みを実現している。また、会社は「共

感経営」に力を入れており、これも経営の魅力の一つである。「楽しくなければ仕事じゃない！」という社長の考え方は素晴らしいと思った。労使双方が信頼し合い、一体感があり、楽しい仕事の姿勢は「信頼経営」とも言えると強く感じた。そして、会社を見学し、多くの興味深い現象を発見した。例えば、部門間や机の間の仕切りが非常に低く設定されていることに感心した。その背景には、社員間のコミュニケーションを円滑に活発にするという社長の意向があった。実際に社員が働いている現場を見学し、楽しく仕事をしているのが感じられ、素晴らしい作業現場だと感じた。さらに、社長は社員のチャレンジ精神を非常に重視しており、失敗を恐れず挑戦するように激励していた。これにより、会社が大きな成長性を持ち、社員が高いモチベーションを持って働くことのできる素晴らしい会社を実現した。

見学が終わった後、各班は資料を整理し、グループディスカッションを行い、第三日の発表に向けて準備をした。



【10月27日】合同研究発表会

朝9時から、各班は発表を開始し、見学の内容と自分の研究テーマを結びつけて、今回の学習成果を報告した。午後には大阪公立大学に到着し、王ゼミと合同研究発表会を行った。各ゼミが順番に発表し、最後にフィードバックを行った。大阪公立大学の先生たちと学生たちはとても親切で、貴重なアドバイスをいただいた。この機会を通じて、皆が意見を交換し合い、互いに学び、研究に関して多くの新しい視点を広げることができた。今後も機会があれば、引き続き協力し学び合いたいと思った。合同研究発表会が終了した後、大阪から東京に帰り、今回のフィールドスタディを無事に終えることができた。

学生はこの貴重な学習機会と体験を通じて、企業経営についてより深く理解し、研究への熱意が大いに高まった。ご協力してくださった企業の皆様といろいろ応援してくださった方々にこの場をお借りして改めて謝意を述べたい。ありがとうございました。

カク 燕書 専任教授